

今月のメッセージ (2013 年 11 月)

日本銀行富山事務所長
佐子 裕厚

きれいな水

「うちは今でも井戸水を飲んでるんですよ。富山で知り合いになった方に言われました。

富山の水はきれいです。県西部を流れる庄川は国土交通省が最も水質が良いとする 9 つの河川の一つになっています¹、環境省が認定する「名水百選」には富山県からは 4 か所も認定されています（黒部川扇状地湧水群、穴の谷の霊水、立山玉殿の湧水、瓜裂清水の 4 か所です）。立山連峰の薬師岳を源流とする富山市の水道水は 2013 年度モンドセレクションの金賞を受賞しました。

富山の方々はこうしたきれいな水を生活に活かして暮らしています。「名水街道」と呼ばれる湧水群がある（芭蕉も訪れた「清水庵の清水」などがあります）黒部市の生地^{いくじ}のあたりを散歩すると、湧水が今でも飲み水や炊事、洗濯に利用されていることがわかります。富山市の中心部にも「石倉地蔵の延命水」と呼ばれる湧水があって市民の方々が終日水汲みに訪れています。

きれいな水の活用は地下水や水道水に止まりません。富山県では 1980 年代後半から海洋深層水の研究が開始され、1998 年には世界初の体験施設「タラソピア」が滑川市でオープンしましたし、入善町では「海洋深層水パーク」が研究・応用の中心施設として機能しています。

富山で海洋深層水が取れるのは、陸地からきれいな水が流れ込むことに加えて富山湾の形状が深く切り込んだ三角錐のようになっていることによるものです（水深 300m 以深の海域で海洋深層水「日本海固有水」が取水できるのですが、富山湾の容積の 65% は「日本海固有水」だと言われています）。良質の海洋深層水は、飲料水、塩、清酒、化粧水、石鹸などの生産に利用されているほか、アワビなどの養殖にも使われています。

私も「石倉地蔵の延命水」を汲んできてコーヒーを淹れてみました。苦味の中にほんのりと甘い香りがして、大自然に抱かれている感覚に包まれ、海洋深層水の将来などに思いを馳せたのです。

以 上

¹ 2012 年調査。一級河川について調査し、庄川、尻別川、後志利別川（ともに北海道）、荒川（福島）、北川（福井）、高津川（島根）、仁淀川（高知）、吉野川（徳島）、川辺川（熊本）が選定されています。